

SDGs 三利特殊鋼の取り組み

Introduction

12 つくる責任
つかう責任



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

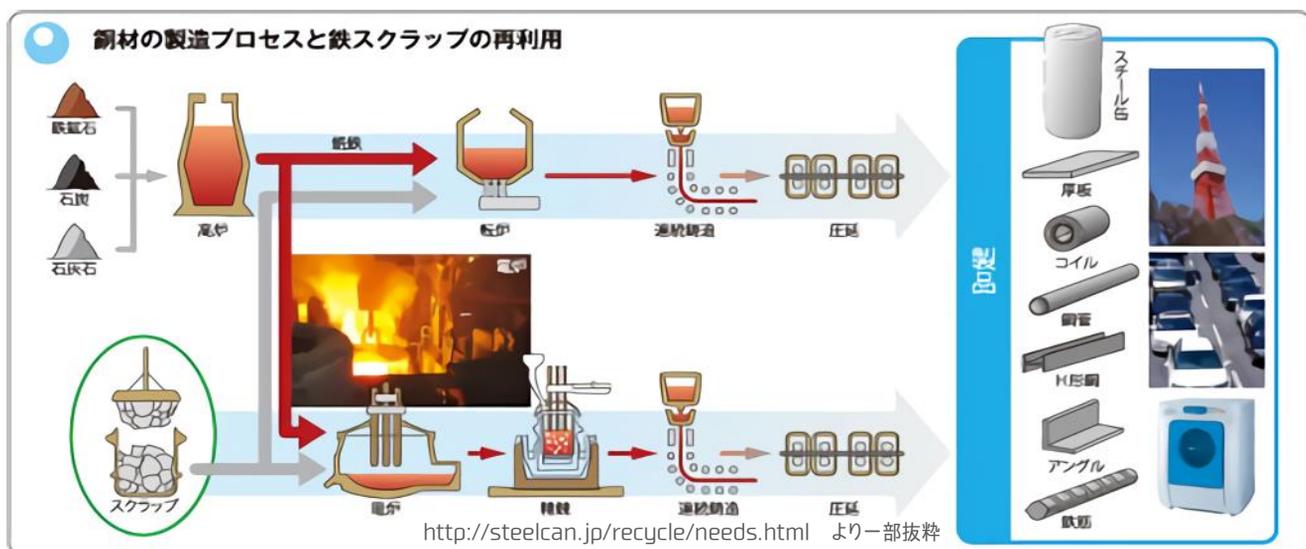
SDGs 12 つくる責任 つかう責任 とは？

持続可能な生産消費形態を確保することを目的としています。

持続的開発を阻む要因の一つには、食品廃棄や有価物の投棄など資源の浪費が挙げられます。

少ない資源で、良質でより多くのものを得られるように生産や消費ができる形態を目標12では求めています。

弊社は特殊鋼の加工販売を行っており、お客様からのご依頼を元に社内溶断工場にて様々な商品を製作しております。その中で出た廃材(スクラップ)は下図のようにリサイクルされ、電炉や転炉で何度も繰り返し鉄鋼製品として再生されます。無限のリサイクルを実現できている鉄は「環境にやさしい材料のチャンピオン」と言えるでしょう。



弊社溶断工場にて
営業担当片岡と社長濱井

弊社も、鋼板を溶断する際に出た端材等をスクラップとして活用しています。

様々な大きさ・形状の製品を作る中で、現場社員一同は、母材を無駄にすることのないよう丁寧に『使い切る』努力をしています。言葉にすると単純ですが、とても工夫を必要とする作業です。

弊社は、日常の業務の中で地道にできることを行い、製品を作る責任と、母材である鋼板を使用する責任を自覚し、SDGs達成に貢献できるよう今後も努力を続けます。